

アクティブ率を効率的にUP

アクティブユーザーを増やす 5つの打ち手



Index

01. アクティブ率はなぜ重要か

02. アクティブユーザーの指標とは

03. アクティブユーザーを増やす5つの打ち手

- ① 初回体験を向上
- ② プッシュ通知を活用
- ③ アプリ内メッセージを活用
- ④ コンテンツを強化
- ⑤ 定期的にアップデート

04. アイリッジのアプリ開発ツール「APPBOX」

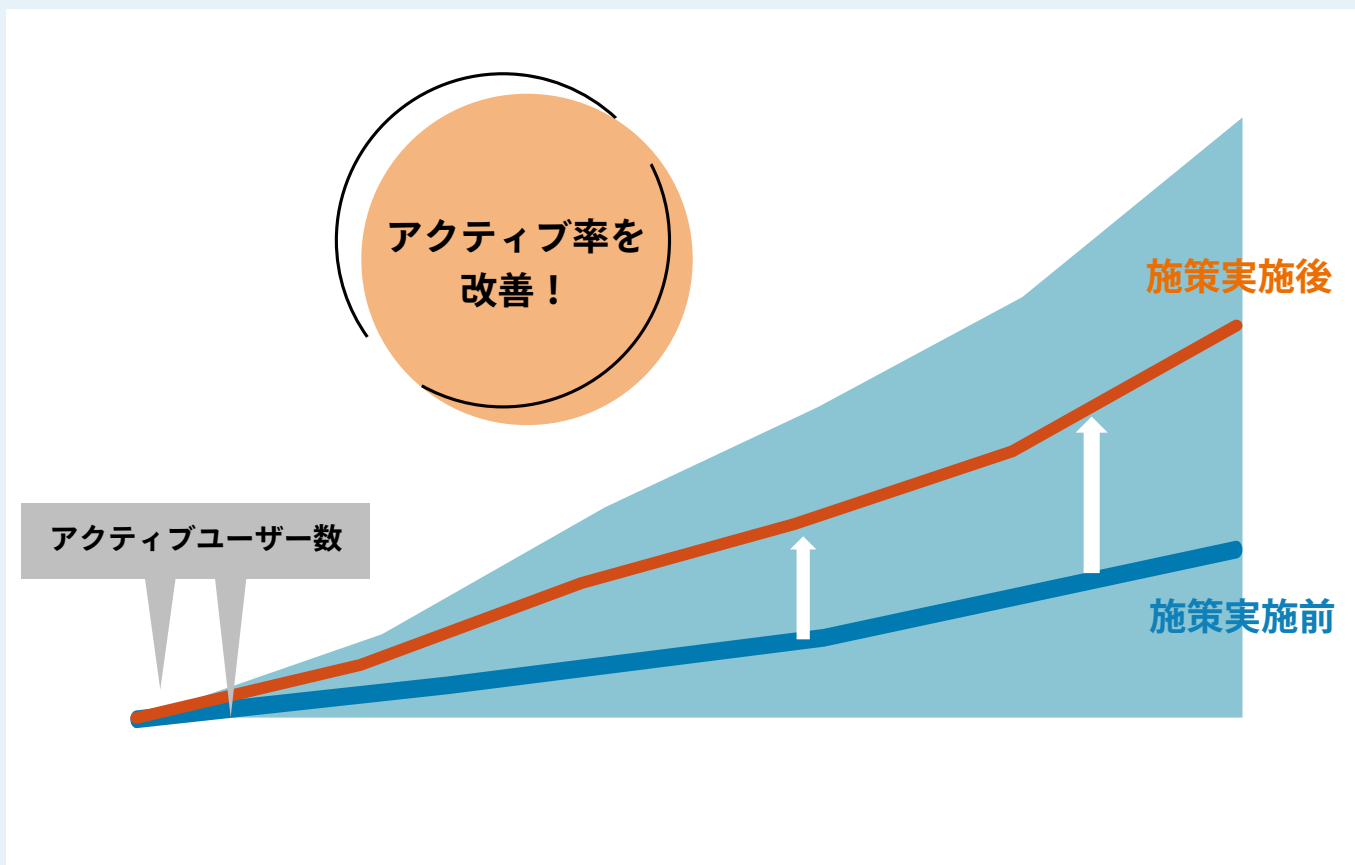
01

アクティブ率はなぜ重要か？

アプリの成長に欠かせない 「アクティブ率」とは

アクティブ率とは、アプリをダウンロードしたユーザーのうち、アプリを実際に使っているユーザーの割合のこと。

アプリでは、何も施策を打たずにいるとダウンロードからわずか数日で多くのユーザーが休眠してしまう傾向があります。アプリを成功に導くには、ダウンロード数を増やす施策だけでなく、アクティブ率を向上させてアクティブユーザーを増やす取り組みが必須です。



02 アクティブユーザーの指標とは

アクティブユーザー数の指標は対象期間によって3つの種類があります。
アプリの目標に応じて重視すべき指標を設定しましょう。



アクティブユーザー数の指標・使い分け方

MAU

Monthly Active User

1か月間に1回以上アプリを
起動したユーザーの数

月に数回の利用を想定しているアプリ
に適している指標です。

- アプリの活用が定着しているかを
分析
- 長期間にわたって継続的にアプリ
が利用されているかを分析

WAU

Weekly Active User

1週間に1回以上アプリを
起動したユーザーの数

週単位のモニタリングが重要なアプリ
に適した指標です。

- 平日・土日でAU数の変動が大きい
アプリを分析
- 週単位でコンテンツを配信するア
プリの効果を分析

DAU

Daily Active User

1日に1回以上アプリを
起動したユーザーの数

ビジネスや生活の中で毎日利用してほ
しいアプリに適した指標です。

- 1日の利用頻度が高いアプリを分析
- アプリが毎日のビジネス・生活に
おいて習慣化しているか分析

アクティブ率の計算方法

アクティブ率の定義は企業によって異なりますが、多く用いられているのは次の2つです。

MAU 率

$$\text{MAU} / \text{ダウンロード数}$$

ダウンロード数に対する1カ月あたりの
アクティブユーザー数の割合

Point!

アクティブ率の基本となる指標です。ダウンロード後、実際にアプリを使っているユーザーがどれくらい存在しているのかを計測します。

毎月のMAU率の推移を見ることで、施策による効果を検証できます。

DAU 率

$$\text{DAU} / \text{MAU}$$

月間アクティブユーザー数に対する
1日のアクティブユーザー数の割合

Point!

DAU率は粘着率（スティッキネス）とも呼ばれ、ユーザーのアクティブ度合いを測る指標として用いられています。

DAU率が高いほど、アプリを日常的に活用しているユーザーが多いと判断できます。

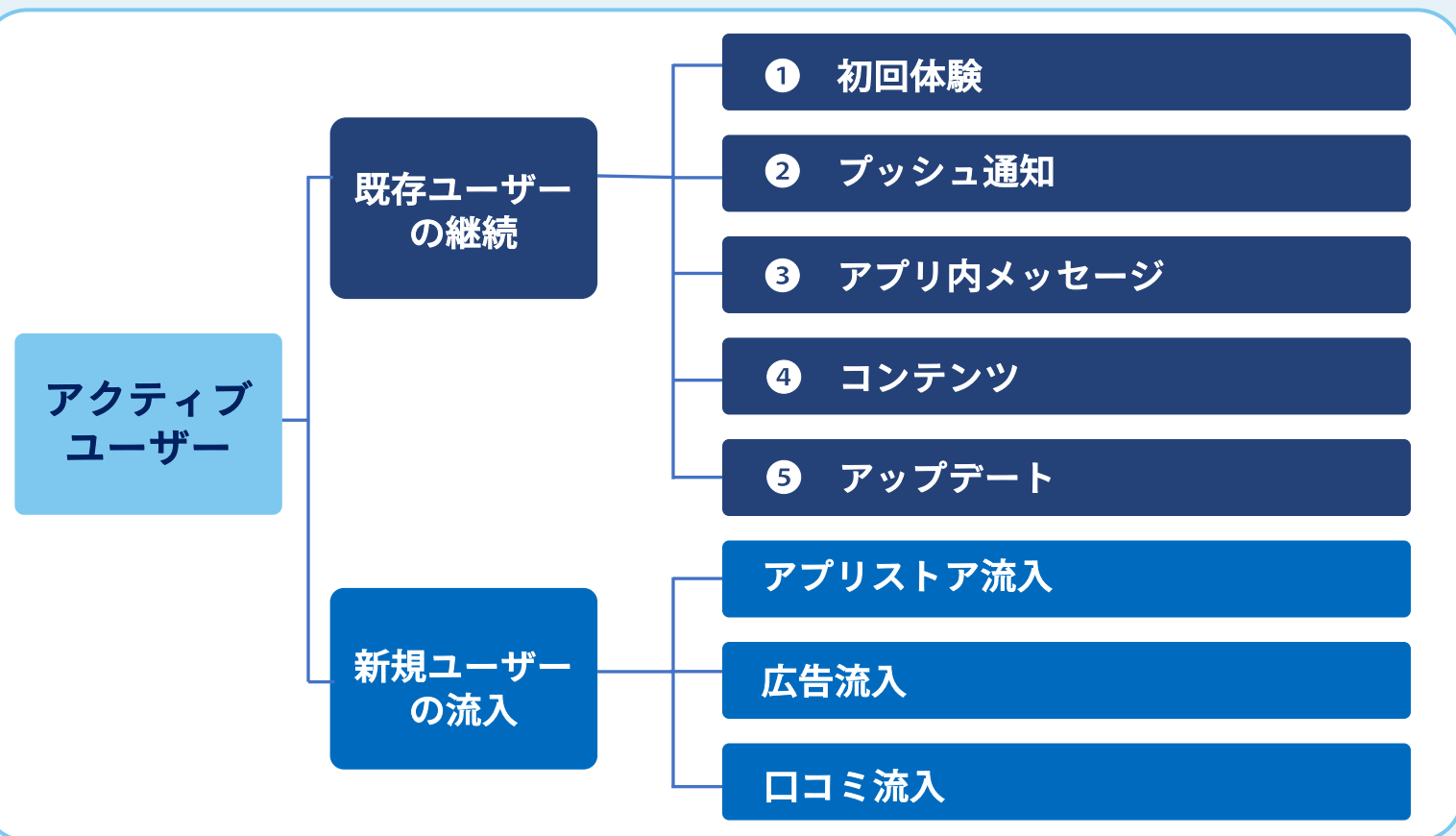
アクティブユーザーを増やす5つの打ち手

ユーザーを定着

成功の鍵は

「ユーザーを定着させる」こと

アクティブユーザー数は「既存ユーザーの継続」と「新規ユーザーの流入」の2つで構成されます。しかし、新規ユーザーを獲得できても、休眠するユーザーが多ければアクティブ率は上がりません。効率的にアクティブユーザーを増やすには、獲得したユーザーを継続・定着させるための施策が重要になります。



1 - 初回体験を向上

チュートリアルを工夫



初回起動時のチュートリアルを工夫して「使いやすい」「わかりやすい」印象を与えることで、継続利用が期待できます。アプリの特徴に合わせて最適なチュートリアルを用意しましょう。

- 画像やアニメーションなどを使い視覚的にわかりやすくする
- ユーザーがアプリで行いたいことを最短で体験できるように工夫する
- 説明が不要なユーザー向けにスキップボタンを設置する

権限リクエストはタイミングよく



権限リクエストのタイミングを工夫し、スムーズにユーザーの許可を得られるようにしましょう。様々な機能を使ってもらうことでアプリの価値が発揮され、ユーザー体験の向上につながります。

- ユーザーが必要を感じるタイミングで権限リクエストする
- 権限を許可することでユーザーにどのようなメリットがあるのかを伝える

2 - プッシュ通知を活用

プッシュ通知の許諾率を上げる



プッシュ通知による成果を高めるには、入り口となる通知許諾ユーザーを増やすことが先決です。より多くのユーザーとコミュニケーションできるように対策しましょう。

- 許諾を得る際は、ユーザーがプッシュ通知を受け取ることのでどのようなメリットを得られるのか提示する
- 初回起動後すぐに許諾を求めるのではなく、ユーザーがチュートリアルや操作で良い体験をした後にアプローチする

ユーザーが喜ぶプッシュ通知を送る



ユーザーが歓迎する内容のプッシュ通知はアクティブ率の向上に大きく寄与します。ユーザーにとってメリットがある内容を検討するほか、配信頻度とタイミングも考慮しましょう。

- 多くのユーザーが届いて嬉しいと感じる情報を届ける
例) セール情報、クーポン、新機能の案内など
- ユーザーごとにパーソナライズされた情報を届ける
例) 予約のリマインド、ポイント失効日のお知らせなど
- ユーザーに敬遠されない頻度・タイミングを考慮して送る

3 - アプリ内メッセージを活用

休眠リスクのあるユーザーにも効果的にアプローチ



アプリ内メッセージは、アプリ使用中のユーザーに対してポップアップでお知らせできる便利な機能です。プッシュ通知非承諾のユーザーにもアクションを促せるため、休眠リスクの低減に役立ちます。

- ユーザー属性やアプリ内での行動に合わせ、ユーザーごとに最適なメッセージを表示する
 - 初回起動時や特定の画面を見たとき、購入後など、効果的なタイミングで適切な内容を表示する
 - 画像などを用いて視覚的にわかりやすく魅力的にする
- CASE1** 会員登録やプッシュ通知承諾の促進
 - CASE2** キャンペーンやクーポンのお知らせ
 - CASE3** 商品購入のレコメンド
 - CASE4** 新しい機能のお知らせ

4 - コンテンツを強化

アプリ限定コンテンツ



アプリ限定コンテンツを用意して、アプリを利用するメリットをアピールします。

- ユーザーの興味関心を惹きつける限定コンテンツを提供する
例) アプリ限定セール、限定クーポン
- ユーザーの好みに合ったコンテンツを提供するパーソナライズも効果的

季節・イベントごとのコンテンツ



季節・イベントに合わせたコンテンツを用意して、アプリの存在感をアピールします。

- 季節・イベントごとにコンテンツを提供する
例) ハロウィン企画、誕生日クーポン
- 季節感があるデザインやアイコンに更新して変化を楽しんでもらう方法もおすすめ

コンテンツを定期的に更新



定期的にコンテンツを更新し、常に新しい情報があるアプリという印象を与えます。

- アクティブユーザーの向上に最適な更新頻度を見極めた上で取り組む
- 古い情報が残ったままにならないように注意

5 - 定期的にアップデート

ユーザーの声に耳を傾けながらアップデート



アプリは次々に新しいものが提供されているため、トレンドやユーザーの声を積極的に取り入れながら、より良いアプリを目指して定期的にアップデートすることが大切です。

- ユーザーレビューやデータ分析に基づき、利便性や操作性の向上につながる改修を行う
- 競合比較やトレンドの観点から機能追加やデザイン変更を検討する



アイリッジのアプリ開発ツール「APPBOX」

アクティブ率を向上させる取り組みをお考えなら「APPBOX」がおすすめです。



**最短1ヶ月・月額10万円から
アプリ開発が可能！**

アイリッジのアプリ開発支援では、スマホ向けアプリ開発サービス「APPBOX」を活用し、アプリ開発・運用・グロースを総合的に支援しています。当社はSaaSツール実績10年以上で、これまでに300アプリ以上を支援しています。



パッケージ開発

標準搭載機能が豊富なため、**最短1ヶ月／月額10万円～でアプリの開発から運用までが可能**です。AB効果測定可能なフリーレイアウトなど、マーケティング機能も充実。スモールスタートで、アプリを開発したいケースにお勧めです。



スクラッチ開発

一般的なスクラッチ開発よりも、**短納期・ローコストでの開発が可能**です。課題の分析から保守・運営までサポートします。ハイクオリティで、運用しやすいアプリを開発したいケースにお勧めです。



拡張機能

他社開発の既存アプリにも、**任意の機能（SDK）を組み込むことができ、ゼロから制作するより早期にバージョンアップが可能**です。サポート体制も万全なので、自社で内製したいケースにもお勧めです。

パッケージ開発が最短1ヶ月・月額10万円から!!



APPBOX標準搭載機能



フリーレイアウト



プッシュ通知



アプリ内メッセージ



クーポン



ユーザー属性



プッシュ通知
お知らせ一覧



スタートアップ



IDLink

費用例

- パッケージ開発：
月額10万円～、初期費用75万円
- スクラッチ開発：
お問い合わせください
- 機能拡張：
月額10万円～、初期費用25万円～

APPBOXの詳細な紹介はこちら

<https://iridge.jp/service/appbox/>

APPBOXサービス紹介資料ダウンロード

https://iridge.jp/service/appbox/contact_doc/

こんな課題・お悩みありませんか？

アクティブユーザーが
増えない

KPI設定・運用のノウハウがない

アプリビジネスの企画からリリース後のマーケティング支援まで
実績豊富なプロフェッショナルがサポートします。

アプリ成長支援サービス

アプリ事業を成長させ、
得られる成果を最大化。

[お問い合わせ](#)



アプリ開発・運用・グロースまで。
アプリビジネスを、これひとつで。

[資料ダウンロード](#)